

# 一般質問

# 市政のここが聞きたい

**第1回定例会の一般質問は、3月4日～9日の4日間にわたりに行われ、19名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容は次の通りです。**

## 社会・市民会議

### 水とみどりを守り伝えよう

#### 間宮 議員

**質問** 南沢湧水群と落合川の保全について、①湧水・清流保全都市宣言を行う考えは、②雨水幹線工事による水質汚染が懸念されるが、市長 ①大変意義あることと考えており、検討を早期に始めたい。

**答弁** ②水質検査の実施、たばこや有害物質を流さないよう、周知をはかりたい。

**質問** 地域包括ケアサービスの充実のためには、高齢者安心生活調査のスピードアップが不可欠と考えるが、22年度の調査区域を伺う。

**答弁** 水川台、学園町、南沢一・二丁目、下里団地と西団地を除く下里および柳窪を候補として現在調整中。残る調査は22年度を含めて3年程度を予定している。

#### 桜木 議員

### 市の窓口体制充実を消費者行政、

**質問** 消費者庁設置に伴う市の消費者センター業務への効果は。

**答弁** 消費者ホットラインが稼働したほか、地方消費者行政活性化交付金の創設により23年度までの3年間、消費者センターの機能強化等が図られる措置を受け、21年度は弁護士のアドバイスを受けられる仕組み、庁用車・備品等の整備、相談員の増員が図られた。

## 民主

### 財政再建と待機児童解消が急務

#### 梶井 議員

**質問** 危惧的な財政状況の中で、行政側で財政分析と行革の方向性や目標を持たなければ、財政指標の改善は難しい。財政再建についての道筋を具体的に落とし込んだ再建計画の早期作成が必要と考えるが、市長 来年度中に何とか道筋を付けられればと思う。

**質問** 保育園の待機児童解消が急務だが、見込みは。

**答弁** 22年度当初で、目標とする50名の待機児童を下回ることは難しい。

**質問** 市内幼稚園は定員に余裕があり、幼保一元化と

## 環境市長派無所属

### 汚職のうわさを聞いたとき

#### 池田 議員

**質問** 汚職のうわさを聞いたとき、①真相解明を待つ、②警察に任せる、③自分もその利権のうまみをすすめる、④自分のできる再発防止で闘う。どれか。

**市長** 答えるのは難しい。

**質問** 市から報酬をもらっている人が市長選挙で市長の政治団体に献金しているか調べよ。献金があれば問題でないか。

**市長** 仮定の話に答えられない。

**質問** 会合で市内建設業者に、優先で受注できるようにすると言ったのではないか。利益誘導ではないか。

**市長** 発言はしていない。

**質問** 市長が議員時代に特定業者の要望を受け、副市長に口利きをして業者が受注しているのは利益誘導ではないか。その話し合いの場所、内容を公開すべきか。

**市長** 決してそのようなことはない。

**意見** 市長公約、情報公開も市民参加も建前。イオン中止も事業の優先順位もはっきりさせない。自分の政治姿勢をはっきり示せ。エッセイ新聞の漫画で何をバトンタッチされたのか。

**質問** 公共施設マネジメントについて、資産の有効活用には、資産の老朽化などのストック情報とコスト情報両面から実態を把握し、資産の可視化を実現すべきと考えるが、市長 有効な行革手段の提案があるので、今後研究したい。

**質問** 待機児童解消については、今後認定こども園の拡大を待機児童解消につなげては、

**答弁** 今後認定こども園を実施したいという幼稚園の意向もあると聞く。計画的に進めていきたい。

**質問** 子育てしやすいまちづくりに、産科・小児科の医療機関誘致・開設が必要と考えるが、見解は。

**市長** 誘致は可能と認識しており、東京都および地域の医師会、医療機関と連携しながら情報収集に努め、市内で出産・子育てができる環境を整えていきたい。

## 環境市長派無所属

### 新しい市長になり、本市の財政が再び危機的状態になるのではないかと心配でならない。歳入不足が見込まれる中、職員給与カット、さらなる地域手当見直しは、

**答弁** 現状でさらに給与カットする考えはない。

**質問** 市民生活は本当に苦しい。行政の支援を必要とする人が増えているから収入が減って歳出が増えている。その財源不足を補うために職員給与をどうするか、考えを伺う。

**答弁** 不足財源を職員給与だけで補ってほしいという考えは、大幅な削減が必要となるので難しい。

**質問** 数百万、数千円単位の財源を生み出して、市民負担を少しでも軽くしようという考えがなければ、行政として働く意味がない。これから毎年歳入不足が見込まれる中、いざというときは職員給与カットをやる覚悟が市長にあるか。

**市長** 職員のモチベーション等を考えると現時点で給与カットする考えはない。

**質問** 市長が議員時代に特定業者の要望を受け、副市長に口利きをして業者が受注しているのは利益誘導ではないか。その話し合いの場所、内容を公開すべきか。

**市長** 決してそのようなことはない。

**意見** 市長公約、情報公開も市民参加も建前。イオン中止も事業の優先順位もはっきりさせない。自分の政治姿勢をはっきり示せ。エッセイ新聞の漫画で何をバトンタッチされたのか。

**質問** 公共施設マネジメントについて、資産の有効活用には、資産の老朽化などのストック情報とコスト情報両面から実態を把握し、資産の可視化を実現すべきと考えるが、市長 有効な行革手段の提案があるので、今後研究したい。

**質問** 待機児童解消については、今後認定こども園の拡大を待機児童解消につなげては、

**答弁** 今後認定こども園を実施したいという幼稚園の意向もあると聞く。計画的に進めていきたい。

**質問** 子育てしやすいまちづくりに、産科・小児科の医療機関誘致・開設が必要と考えるが、見解は。

**市長** 誘致は可能と認識しており、東京都および地域の医師会、医療機関と連携しながら情報収集に努め、市内で出産・子育てができる環境を整えていきたい。

**質問** 市内幼稚園は定員に余裕があり、幼保一元化と

**答弁** 22年度当初で、目標とする50名の待機児童を下回ることは難しい。

**質問** 市内幼稚園は定員に余裕があり、幼保一元化と

**答弁** 22年度当初で、目標とする50名の待機児童を下回ることは難しい。

**質問** 市内幼稚園は定員に余裕があり、幼保一元化と

**答弁** 22年度当初で、目標とする50名の待機児童を下回ることは難しい。

**質問** 市内幼稚園は定員に余裕があり、幼保一元化と

**答弁** 22年度当初で、目標とする50名の待機児童を下回ることは難しい。

## 環境市長派無所属

### 市民参加を進める自治基本条例の実現を

#### 白石 議員

**質問** 自治基本条例の策定に向けては、平成14年の東久留米市基本条例（仮称）研究会報告書をきちんと活用すべきと考えるが、市長 検討していく中では、同報告書を活用することも、今の時代に合った内容もぜひ取り入れたい。

**質問** 市立図書館と学校図書館とのネットワークの現状について伺う。

**答弁** 学校図書館支援センターの支援により、図書館資料の貸し出し、本の選定に際しての学校図書教諭への助言と学校での図書教育の充実に向けた各学校の巡回等を実施しており、今後も継続していきたい。

**質問** 小学校給食調理業務委託に、①第七小の委託に、給食を受ける当事者を含めて行い、②その検証をした上で、次の計画は慎重に考えていくべき。

**答弁** ①導入計画に明記の市が定めた衛生基準が確保されているか、業務遂行等について約束通り実施されているかを通常の業務の中で検証する。②保護者に丁寧な説明をしていきたい。

**質問** 市長は、財政健全化に向けてどう取り組むのか。

**市長** 本市の財政状況は、経常的業務に対する財源の手当てがままならない状況にある。情報公開の徹底と説明責任、民間活力の導入による市民との協働、すべての事業と人件費の総点検を行い、市民や議会の理解を得ながら健全化に努めていきたいと考える。

**質問** 消防署前出張所・くぬぎ児童館・太道幼稚園跡地の今後の方針は。

**市長** 出張所は、売却し東京都への消防事務委託に伴う経費に充当するとの前市政の考えに沿って対処したい。児童館・幼稚園跡地は、西部地域に偏在している子育て施設のあり方や児童館の配置構想等を考え、取り扱いを整理していきたい。

**質問** 本市の小・中学校内での子どもの携帯電話の取り扱いと実態調査の結果は。

**答弁** 保護者の申し出により持ち込みを認める場合もあるが、原則禁止。20年度の保持率は、抽出調査で、小学校高学年39%、中学校1年生61%。

**質問** 地域防災訓練の今後

**答弁** 地域防災訓練の今後

## 環境市長派無所属

### 市長は公約を守るのか！

#### 島崎 議員

**質問** 市長が掲げた選挙公約実現のためには、財源の確保が重要な課題だが、具体的な考えを伺う。

**市長** 既存事業の見直し・精査を図り、歳入構造基盤の強化として新たな産業の誘致、現役世代の転入促進と永住策等により歳入確保に努め、全事業と人件費を総点検して、健全な財政運営を目指したいと考える。

**質問** 市長が考える「歩いて暮らせるまち」コンパクトシティとは、具体的にどのようなものなのか。

**市長** 身近に医療、福祉、子育て関連施設や、財政・雇用面から環境負荷のない事務系企業等があり、地域商店街支援を通じ、歩いて移動できる地域を生活圏として成立させるものである。

**質問** 地域防災訓練の今後

**答弁** 地域防災訓練の今後

## 環境市長派無所属

### 新市長、舵取りは？

#### 細谷 議員

**質問** 市長は、財政健全化に向けてどう取り組むのか。

**市長** 本市の財政状況は、経常的業務に対する財源の手当てがままならない状況にある。情報公開の徹底と説明責任、民間活力の導入による市民との協働、すべての事業と人件費の総点検を行い、市民や議会の理解を得ながら健全化に努めていきたいと考える。

**質問** 消防署前出張所・くぬぎ児童館・太道幼稚園跡地の今後の方針は。

**市長** 出張所は、売却し東京都への消防事務委託に伴う経費に充当するとの前市政の考えに沿って対処したい。児童館・幼稚園跡地は、西部地域に偏在している子育て施設のあり方や児童館の配置構想等を考え、取り扱いを整理していきたい。

**質問** 本市の小・中学校内での子どもの携帯電話の取り扱いと実態調査の結果は。

**答弁** 保護者の申し出により持ち込みを認める場合もあるが、原則禁止。20年度の保持率は、抽出調査で、小学校高学年39%、中学校1年生61%。

**質問** 地域防災訓練の今後

**答弁** 地域防災訓練の今後

